

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								3.5
Q1 室内環境			0.40		-			3.5
1 音環境		3.0	0.15	2.8	1.00			2.9
1.1 騒音		3.0	0.40	3.0	0.40			
1.2 遮音		3.0	0.40	3.6	0.40			
1 開口部遮音性能	T-2性能のサッシを採用	3.0	0.40	5.0	0.30			
2 界壁遮音性能		3.0	0.60	3.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20			
1.3 吸音		3.0	0.20	1.0	0.20			
2 温熱環境		3.1	0.35	3.0	1.00			3.1
2.1 室温制御		3.3	0.50	3.0	0.50			
1 室温		3.0	0.38	3.0	0.57			
2 外皮性能		3.0	0.25	3.0	0.43			
3 ゾーン別制御性	ゾーン別に空調機を設置。一部ゾーンを冷暖同時にて計画。	4.0	0.38	-	-			
2.2 湿度制御		3.0	0.20	3.0	0.20			
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	0.30			
3 光・視環境		3.9	0.25	4.1	1.00			3.9
3.1 昼光利用		5.0	0.30	4.2	0.30			
1 昼光率	昼光率(共用部):3.2% 昼光率(1床室):2.2% 昼光率(4床室):3.4%	5.0	0.60	5.0	0.60			
2 方位別開口		-	-	3.0	-			
3 昼光利用設備	光庭を2か所に設置	5.0	0.40	3.0	0.40			
3.2 グレア対策		4.0	0.30	4.0	0.30			
1 昼光制御	(共用)ロールスクリーン+庇、(病室)カーテン+庇	4.0	1.00	4.0	1.00			
3.3 照度		3.0	0.15	3.0	0.15			
3.4 照明制御	ベッド毎にブラケット照明を設置し、個別対応が可能	3.0	0.25	5.0	0.25			
4 空気質環境		4.0	0.25	4.0	1.00			4.0
4.1 発生源対策		4.0	0.50	4.0	0.63			
1 化学汚染物質	全面的にF の材料を使用	4.0	1.00	4.0	1.00			
2 アスベスト対策		-	-	-	-			
4.2 換気		3.5	0.30	4.0	0.38			
1 換気量	1床室50[m3/h人] 4床室36[m3/h人]	4.0	0.50	5.0	0.33			
2 自然換気性能	1床室(16.77㎡)・・・有効1.63㎡(1/10.3) 4床室(31.39㎡)・・・有効3.26㎡(1/9.6)	3.0	-	4.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33			
4.3 運用管理		5.0	0.20	-	-			
1 CO ₂ の監視		3.0	-	-	-			
2 喫煙の制御	全館禁煙	5.0	1.00	-	-			
Q2 サービス性能			0.30					3.6
1 機能性		3.6	0.40	3.4	1.00			3.5
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	3.0	0.60			
1 広さ・収納性		3.0	-	3.0	1.00			
2 高度情報通信設備対応		3.0	-	3.0	-			
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-			
1.2 心理性・快適性		4.0	0.30	4.0	0.40			
1 広さ感・景観	病室の天井高さは2.5m	3.0	-	4.0	0.50			
2 リフレッシュスペース		3.0	-	-	-			
3 内装計画	機能を満足する床材・ガード材、間接照明、パースによる検証等	4.0	1.00	4.0	0.50			
1.3 維持管理		4.0	0.30	-	-			
1 維持管理に配慮した設計	内外装仕上は高防汚仕様、金属部材には溶融亜鉛メッキを採用	5.0	0.50	-	-			
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-			
3 衛生管理業務		-	-	-	-			
2 耐用性・信頼性		3.9	0.30					3.9
2.1 耐震・免震		4.6	0.50	-	-			
1 耐震性	建築基準法の1.5倍の耐震性能を有する。	5.0	0.80	-	-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.2	0.30	-	-			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	床:ビニル床シート 20年、壁:ビニルクロス貼 20年 天井:ビニルクロス貼り 30年	5.0	0.10	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-			
2.4 信頼性		3.6	0.20	-	-			
1 空調・換気設備	ビル用マルチ空調機・外調機を選定し、用途別にゾーニングを実施。重要エリアについては室外機と1対1とし他エリアとは切り分けている。	5.0	0.20	-	-			
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-			
3 電気設備		3.0	0.20	-	-			
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-			
5 通信・情報設備	通信手段の多様化、地域防災無線有	4.0	0.20	-	-			

3 対応性・更新性			3.4	0.30	3.5	1.00	3.4
3.1 空間のゆとり			4.6	0.30	4.0	0.50	
1	階高のゆとり	階高 1F:4.01m、2F:3.91m、3F:3.81m、4F:3.71m、5F:3.91m	5.0	0.60	4.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ	(共用)壁長さ比率:0.181 (1居室)壁長さ比率:0.24、(4居室)壁長さ比率:0.28	4.0	0.40	4.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.4
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮		厚木市景観条例に則り、屋上設置の設備機器が周辺に見えないよう目隠し壁を設置。	4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.4
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.6
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI=0.85	4.5	0.20	-	-	4.5
2 自然エネルギー利用		光庭からにより自然光を直接利用	4.0	0.10	-	-	4.0
3 設備システムの高効率化		BEI 非住宅 - 住宅(専有部) -	3.3	0.50	-	-	3.3
集合住宅以外の評価(3a.3b)		BEI=0.97	3.3	1.00	-	-	
集合住宅の評価(3c)			-	-	-	-	
4 効率的運用			3.5	0.20	-	-	3.5
集合住宅以外の評価			3.5	1.00	-	-	
4.1	モニタリング	給水、ガス主管メーター設置、電気用途別計量を計画	4.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.6
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水		静音装置、自動水栓等を過半の衛生器具に採用	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.8	0.60	-	-	3.8
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.11	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.22	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.22	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		床:ビニル系床材、壁:壁紙、天井:岩綿吸音板(各々エコマーク商品)	5.0	0.22	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		躯体+LGS+仕上材により分別容易	5.0	0.22	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.20	-	-	3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用		PRTR法対象の有害物質を含まない床シート接着剤と壁紙用接着剤を使用	4.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	
1 消火剤			-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)			3.0	0.50	-	-	
3 冷媒			3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.1
1 地球温暖化への配慮		LCCO2低減率=3%	3.1	0.33	-	-	3.1
2 地域環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.5	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制		最寄駅までのシャトルバスを病院が運営 利用者の自動車の路上駐車を防ぐために、敷地外周辺に病院専用のコインパーキングを設置し、十分な駐車スペースを確保。	5.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1 騒音			3.0	0.50	-	-	
2 振動			3.0	0.50	-	-	
3 悪臭			-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制			3.0	-	-	-	
3 日照障害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.7	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		屋外照明の光害に配慮している。	4.0	0.70	-	-	
2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	